※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史 改訂版」（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
２．世界の国々の歴史や文化と日本の文化や伝統との違いを理解した上で、おたがいを尊重する姿勢を養う。
３．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
４．歴史的事象に対して「なぜ」という考えを持つ。

２　学習の到達目標

1.「日本史についての基本的な知識」と「史資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
2. 社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。
3. 各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて，我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
4. 世界の中で日本がどのように貢献していくか、主体的に考察する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。	歴史的課題について、史料・地図等から情報を正しく読み取り、活用する力が身についている	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 (授業態度・発言) ・提出物の点検 ワークシート レポート	・行動の観察 (授業態度・発言) ・提出物の点検 ワークシート レポート ・定期考査	・行動の観察 (授業態度・発言) ・提出物の点検 ワークシート レポート ・定期考査	・行動の観察 (授業態度・発言) ・提出物の点検 ワークシート レポート ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	原始・古代	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 貴族政治と国風文化	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 原始社会古代国家の成立と推移及び文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b: 原始から古代国家の成立と推移及び文化の形成から課題を見出し、古代国家が東アジア世界の動きとも関連付け考察している。 c: 原始から古代国家・文化の形成に関する諸史資料を活用、博物館や文化遺産を活用することなどを通して，歴史的事象や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な事柄を東アジア世界の動きとも関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	行動観察 定期考査 ノート点検 レポート
1学期期末	中世・近世	中世社会の成立 武家社会の成長 織豊政権	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 武家政権の成立から戦国大名の時代に至る武家社会の進展と文化の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。 b: 武家政権の成立から戦国大名の時代に至る武家社会の進展と文化の展開から課題を見いだし，東アジア世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:武家社会の進展と文化の展開に関する諸資料を活用することや，博物館や文化遺産を活用することなどを通して，歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:武家社会の進展と文化の展開についての基本的な事柄を東アジア世界の動向と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	行動観察 定期考査 ノート点検 レポート

※令和３年度以前入学生用

２学期中間	近世・近代	幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺	○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ ○	a：幕藩体制の特色と推移，社会・文化の動向に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。 b：幕藩体制の特色と推移，社会・文化の動向から課題を見いだし，国際関係の変化とその影響とも関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：幕藩体制の特色と推移，社会・文化の動向に関する諸資料を活用することや，博物館や文化遺産を活用することなどを通して，歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d：幕藩体制の特色と推移，社会・文化の動向についての基本的な事柄を国際関係の変化とその影響とも関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	行動観察 定期考査 ノート点検 レポート
２学期期末	近代	近代国家の成立 二つの世界大戦とアジア	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a：開国から明治時代の近代日本の歩みに対する関心と第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人として責任を果たそうとしている。 b：開国から明治時代の近代日本の歩みに対する関心と、我が国が戦争へ突き進んでいく政治的、社会的要因を整理し正しく判断できている。 c：開国から明治時代の近代日本の歩みに対する関心と第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に関する資料などを通して，歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに，追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d：世界史の大きなうねりの中で日本の近代が幕を開けたことを理解している。大戦参加に至る社会的、国際的背景を正しく理解している。	行動観察 定期考査 ノート点検 レポート

※令和３年度以前入学生用

学年末	現代	占領下の日本 高度成長の時代 激動する世界と日本	 ○	○ ○ ○	○ 	○ ○ ○	a: 日本はどうあるべきか、将来の主権者として主体的に考えようとしている。 b: 西側陣営の一員として日本が独立し、アメリカとの関係を深めることで成長した過程を正しく考察できている。 c: 様々な史料から戦後日本を世界史のなかに位置付けて考察し、その特徴を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 新憲法のＧＨＱ草案が作成の過程について正しく理解している。独立から高度経済成長にいたる過程を国際関係の中で正しく理解している。激動する現代の中で日本がなすべき課題を考察し、判断できている。	行動観察 ノート点検 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。